

## 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	リバーサイドパークーの谷
	所在地	あきる野市引田 7 7 6
	所管課	環境経済部観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係
指定管理者	名 称	一般社団法人あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市館谷台 1 6 番地
	業務内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設の利用等に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用の受付業務</li> <li>・器具類の貸出し業務</li> </ul> </li> <li>2 環境衛生協力費等の徴収に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者が、施設内に自動車等を乗り入れる際の環境衛生協力費の徴収業務</li> <li>・器具類等の貸出し料徴収業務</li> </ul> </li> <li>3 施設の維持管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の清掃業務</li> <li>・施設の軽微な修繕に関する業務</li> </ul> </li> <li>4 施設の利用促進を図るための企画実施に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントの支援業務</li> <li>・施設の見学に関する業務</li> <li>・広告・宣伝業務</li> <li>・施設利用者に対する意識調査の実施業務</li> </ul> </li> </ol>
ホームページURL		<a href="https://www.akirunokanko.com/?p=3975">https://www.akirunokanko.com/?p=3975</a>
指 定 期 間		平成 2 9 年 4 月 1 日 ～ 平成 3 2 年 3 月 3 1 日

### 2 施設の利用状況等について

項 目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
開館等日数 (日)	307	307	308	296	309
来客者数 (人)	約 4,600	約 4,300	約 4,800	2,826	2,644
前年度比 (人)	△500	△300	500	△1,974	△182
前年度比 (%)	90.2	93.5	111.6	58.9	93.6
利用料金等合計 (千円)	4,407	3,557	4,096	2,713	2,446
前年度比 (千円)	51	△850	539	△1,383	△267
前年度比 (%)	101.2	80.7	115.2	66.2	90.2

※今年度報告書から、上記表内の平成 25 年度～平成 29 年度「利用料金等合計 (千円)」は、収入合計額となっています。

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金収入 (売上)	2,940	2,721	3,134	2,081	1,901
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	1,467	836	963	631	545
	計	4,407	3,557	4,097	2,712	2,446
支 出	人件費	2,599	2,568	2,832	2,524	2,711
	維持管理経費	1,020	406	401	480	368
	自主事業 関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	902	915	1,223	973	632
	計	4,521	3,889	4,456	3,977	3,711
収支(収入－支出)		△114	△332	△359	△1,265	△1,265

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
利用者に対し、バーベキュー用具の貸出時及び返却時に口頭にて利用状況を確認している。静かな場所が良いとの声がある。また、電話等の予約時には、新規利用者かリピーター利用者の確認と要望などを聞いている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
バーベキューをしながら川遊びをしたいという問い合わせが非常に多く、事故防止対策も踏まえ今後の検討課題とする。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
小中学校等の課外授業や地域事業に対して、積極的に受け入れを行っている。 手軽にバーベキューを楽しめるように、道具の貸出しを行い、食材についても協力店と連携しながら提供している。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
製氷機、冷凍庫の限定稼働など業務に支障のない範囲で節電、節水に努めている。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
除草作業など園内整備費用が増大する中で、費用を抑えつつもサービス低下とならないよう努力した。リピーター客の獲得に手ごたえを感じているが、全体数として減少している利用者数について、バーベキューとともに川遊びも出来る環境づくりを心がけて増加を目指していきたい。 お客様に安心・安全のサービスを提供できるようスタッフ一同引き続き努力していく。

7 所管課による総合評価(太枠にS～Bの3段階で評価を記入)

市民サービスの向上
利用者及び近隣住民にも配慮し、トラブル防止や園内の清掃等、サービスの向上に取り組んでいる。 主催イベントを開催するなどして地域の方にも親しんでもらえるよう努力している。

経費削減の取組	
節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
天候に影響を大きく受ける事業ではあることや園の場所が分かり辛いなどの点があるが、一方で静かに過ごすことができるなどの特長があるので、特長を生かしながら新規顧客獲得の努力を行い、安定的な経営を行えるよう検討する必要がある。また、引き続き安全に特に配慮し、利用者が快適かつ安全に利用できる施設運営を期待する。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。